

「黙れば一流」



龍田和子委員

NHK の大河ドラマ「軍師官兵衛」もいよいよ前半の佳境に入ってきております。ご存知のように「中国大返し」のところですよ。1582年6月2日本能寺で織田信長が明智光秀に急襲され自刃。世にいう本能寺の変です。その知らせが中国路で毛利軍と戦っていた羽柴秀吉に届けられた。秀吉はその悲報に接して狼狽し、悲嘆にくれていた時にドラマの主人公である黒田官兵衛が「運がめぐってまいりましたな」と勇気づけたと歴史書には記されております。そして、官兵衛はさっそく毛利軍と和睦をし、弔い合戦として光秀を討つべく中国路を京へと向かったわけです。

この「中国大返し」について、私などは先見性のあるすごい人物と、官兵衛を思うわけですが、小説家の坂口安吾は、この史実をもって『二流の人』と著しているのです。事実、その後もあまりにも頭が切れ、先見性があるために秀吉に恐れられ都から遠い九州の地へ転任させられているわけです。マイナス要因をプラス要因に切り換えるところまでは上々でも、発言が度をこせば二流の人であると安吾は看破をしているわけです。同じくあの良寛さんが自戒のことばとして「ことばの多きこと、黙ることを知らないこと」は、快からぬものといっております。雄弁がまかり通る世の中ですが、やはり“雄弁は銀、沈黙は金”なのかも知れません。

平成26年度の恵那市教育委員会の主な取り組み

教育総務課

- ・ 学校プール整備事業(武並小学校)
- ・ 中野方保育園建設事業
- ・ (仮)長島こども園建設事業
- ・ 学校再編対策事業
- ・ 学校給食調理及び配送業務委託事業

学校教育課

- ・ 学力の向上並びに教職員の資質向上
- ・ 学校教育の指導方針と重点の具現化
- ・ 幼保職員の研修の充実と幼稚園、保育園と小学校との連携の強化
- ・ 特色ある学校づくりの推進
- ・ 恵那市教育振興基本計画の策定

幼児教育課

- ・ 子ども・子育て支援新制度に基づく子ども子育て支援施策の推進
- ・ 幼保一元化の推進(こども園への移行)
- ・ 幼児教育の推進(幼保一元化の取り組み)
- ・ 指定管理者制度の導入・推進
- ・ こども元気プラザと連携した適切な就学支援の充実

平成26年度一般会計歳出予算 (単位:千円)



生涯学習課

生涯学習まちづくりセンター

- ・ 生涯学習のまち「市民三学運動」の推進
- ・ コミュニティセンター体制の整備
- ・ 読書活動の推進
- ・ 青少年育成事業の推進
- ・ コミュニティセンターと市民会館の施設整備

文化スポーツ課

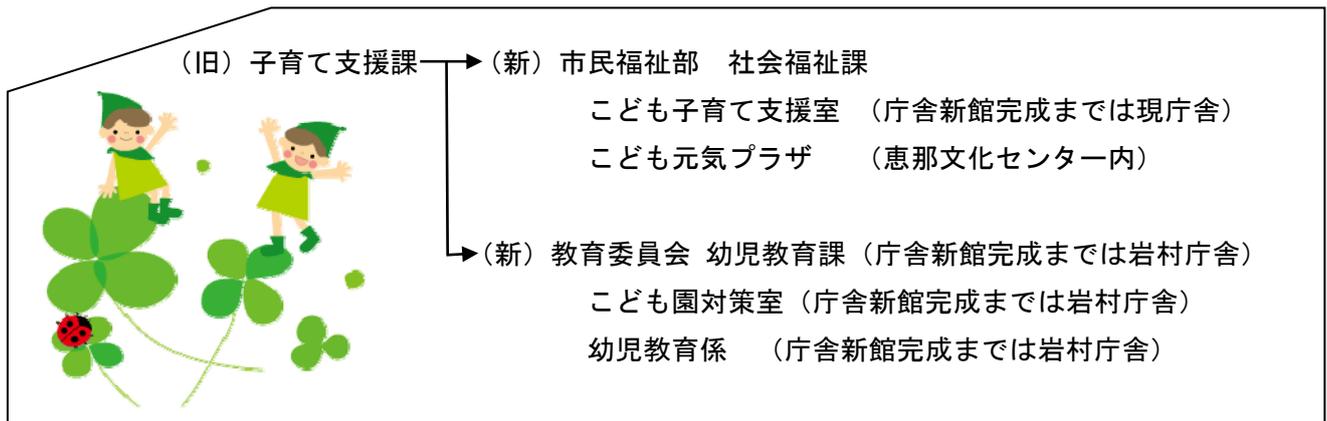
- ・ 文化・スポーツ振興法人のあり方・方針(案)の策定
- ・ 文化・スポーツ施設の配置の見直しと統廃合方針(案)の策定
- ・ 文化財の保存と活用
- ・ 芸術文化・スポーツの振興
- ・ スポーツ推進計画の策定

幼保両者のよさを生かしたこども園をめざして

*** 幼児教育課 ***

恵那市教育委員会では『恵那市の生涯学習は幼児教育から』の理念のもと、市内の保育園・幼稚園に共通の目標を4点（◇あいさつ ◇英語遊び ◇読書 ◇特色ある園活動）決めて、幼児教育の充実に取り組んでいます。さらに、全ての幼児が、どこに住んでいても、保護者の方が仕事をしていてもしていなくても、市内共通の質の高い幼児教育と養護を受けられるよう、また、小学校教育にスムーズになじむことができるよう、平成27年度からこども園を開設する予定で準備をすすめています。

これまでに、「市子ども・子育て会議」の設置やニーズ調査の実施、園長会・副園長会・初任者研修・主任研修の幼保合同実施、教育・保育課程やこども園カリキュラムの作成などを進めてきました。また、今年度からは行政組織が下記のように改革されています。



えなしこどもフェスタ2014(第13回)

*** 恵那文化センター ***

恵那文化センターでは、毎年7月に、未来を担う子どもたちに多くの人とのふれあいと、様々な体験ができる「えなしこどもフェスタ」を、えなしこどもフェスタ実行委員会・恵那市教育委員会・各コミュニティセンターが主催者となり開催しています。

こどもフェスタでは、そこから得られる発見や感動、物事に打ち込む充実感を通して、子ども達の感性や創造性が養われることを期待しています。また、子どもたちは、自らものを作り上げる喜びや、科学の不思議を体験する喜び、自分を表現する喜びを味わうことができるだろうと思います。

こどもフェスタには、多くの方々のご協力により毎回たくさんのブースを出展していただき、また、中学生や高校生にもボランティアスタッフやブースの出展者として参加していただいています。今年も下記の日時に開催いたしますので、多くの子どもたちが参加してくれることを願っています。

開催日時 平成26年7月19日(土) 午前10時～午後3時
平成26年7月20日(日) 午前10時～午後3時

入場料無料

